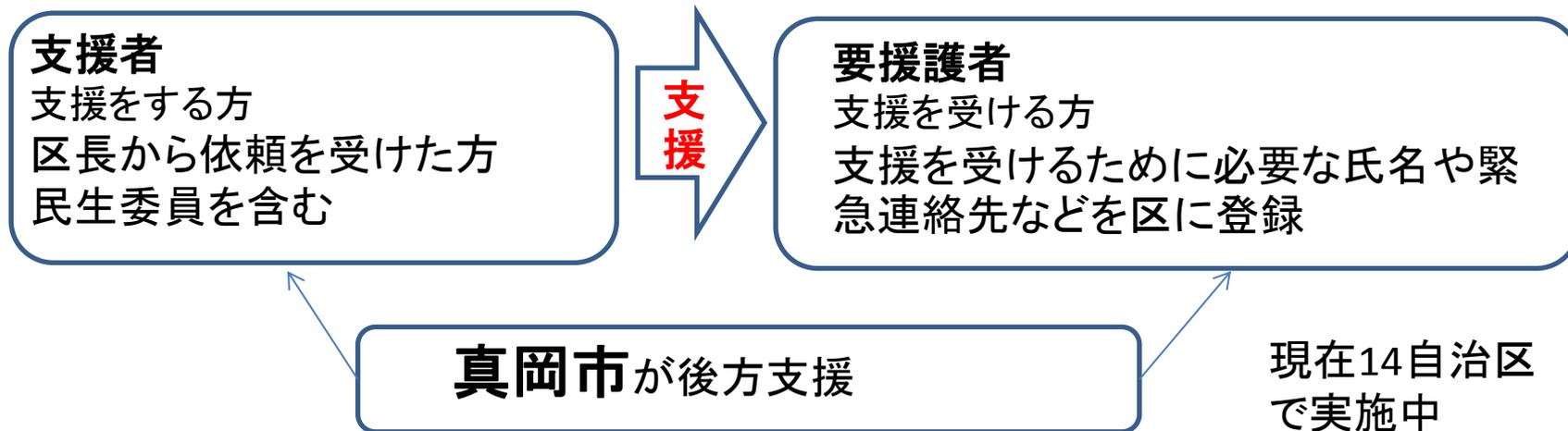


# 高齢者等見守りネットワーク事業

自治区が主体となり町会や区内の協力者などが連携し、手助けや見守りの必要なお年寄りや障がい者の方を支援することで、安全安心な地域づくりの推進をする。



支援活動を受けるまでの流れ

- ①区内で支援を希望された方から緊急連絡先などの各種情報を提供していただきます。
- ②区がその情報を登録し、区長から依頼を受けた支援担当者が、災害時の避難誘導等のほか、平時から挨拶、訪問など見守り支援を行います。

地域に出向き協働

平時からの高齢者等見守りネットワークの構築を推進し地域包括支援センターが中心に真岡市が後方支援

認知症サポーターやボランティアの活用

地域づくり・資源開発

個別ケース検討

随時開催

特に認知症支援で困難な事例やケアプランの妥当性などについて、個別の役割、地域での役割を明確にする

真岡市地域ケア会議

実態把握

常時実施

民生委員等からの調査資料を基に地域包括支援センターで健康面などを追加把握し民生委員との情報共有

地域課題の発見・把握

定例開催

認知症の早期発見から医療・介護について具体的にそれぞれの担える役割について気づき課題を共有

地域課題の共有

高齢者の現状や認知症について関係者が把握している情報を共有し、課題を明確にする

